

環境問題考えてみて

人吉市の青井阿蘇神社

関西の大学生ら 球磨工高生と交流



関西から訪れた大学生（右から4人目）と、環境問題の身近な解決方法を考える球磨工業高の生徒たち
＝人吉市

「環境と国際問題について啓発する『ブルーアースプロジェクト』に参加する関西の大学生らが26日、人吉市の青井阿蘇神社を訪れ、球磨工業高の生徒22人と交流した。同プロジェクトは、神戸市の球磨工業高が取り組む課外活動。食や水、温暖化など地球のさまざまな問題をテーマに、生徒たちが課題解決のための啓発活動を行っている。同高を卒業した大学生にも広がっており、今回は神戸松蔭女子学院大、神戸女学院大、関西大から1年生3人が同市を訪れた。

「環境と国際問題について啓発するプロジェクトの体験談を紹介。その後3グループに分かれ、高校生は大学生のアドバイスを受けながら環境問題を広用紙に書き出し、身近な解決方法を考えた。全体発表では、「残飯は肥料にする」「コンセンクトを差しっぱなしにしない」などの意見が出た。

「環境についてじっくり考えてみてこれまで気付かなかった水の大切さを実感できた」と同高3年の村田茉由さん。神戸松蔭女子学院大の中野実咲さんは「身近にできることから継続して取り組んでほしい」と話していた。（白杵大介）